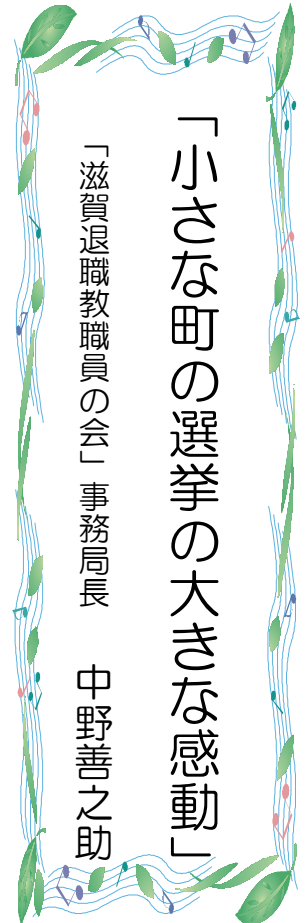


手をつなぐ

題字 藤本利夫書

〈1988年7月9日創刊〉
 発行2015年7月1日 〈毎月1日発行〉
滋賀県民主教育研究所
 〒520-0052大津市朝日が丘1丁目
 11-3 教育文化会館2 F
 TEL & FAX 077-525-5364
 教育110番 077-523-3715
 eメールshiga.minken@gmail.com
 HP:http://shiga-minken.jimdo.com/
 振替口座番号(会費振込にご利用ください)
 ①ゆうちょ銀行/記号番号01070-5-40576
 ②滋賀銀行本店営業部/普通口座511256
 加入者(口座)名 滋賀県民主教育研究所



「小さな町の選挙の大きな感動」

「滋賀退職教職員の会」事務局長 中野善之助

豊郷町の町長選挙に本田清春さんが立候補した。本田さんから「立候補するからよろしく」という短い電話を受けた。その時は、大義のためとはいえ、勝てそうもない選挙にご苦労なことだと思っただ。

公示前、激励に選挙事務所である本田さん宅を訪れた。ひっそりしていた。闘いの雰囲気はない。本田さんに出会えぬまま事務所を後にした。

そして、公示2日目選挙応援のため候補者カーに乗ることになり、一緒に街頭へ出た。本田さんは水を得た魚のように生き生きしている。

「二人が立候補しているがどちらを選んでよく似たもの、これでは選択肢がない。私は利権や汚職に無縁の真に住民の代表にふさわしい候補者擁立に努力したが応えてくれる人がなかった。それならば私が立候補し、みなさんの審判を仰ぎたい。子育てが日本一しやすい豊郷をめざす」と訴える本田さん。

かつてあの利権がらみの豊郷小学校舎解体の暴挙が持ち上がったときも、結局は本田さんがリーダーの役を担うことになり、3年を超える闘いを引つ張り見事勝利した。

今度もそうだ。豊郷を愛してやまない本田さんの血が騒ぐのである。

「こんな町政をいつまでも続けていいのか。みなさん目覚めて、私を選んでください」

青年のように清新な正義感ほとばしる訴えなのである。私はそれを聴いて胸からこみ上げる感動を覚えた。「厚い壁にがむしやりに挑む」というかつての私にもあったであろう情熱は、いつの間にか色あせている自分に気づかされた。本田さんが輝いて見えた。年老いてもこうあるべきという生き様である。

私はすっかりこの選挙にはまっぴら行動をとることにした。本田さんには失礼な言い方かも知れないが、選挙を楽しむ、久しぶりに心躍る経験をさせてもらった。

付け加えておくと、本田さんの演説には子どもの人だかりができて、熱狂的な応援をしてもらえる。握手を求めて来る子どももいる。激励の贈り物を届けに来る子どももいる。彼らからじみ出るものが子どもたちを引きつける。

本田さんはやっぱりほんまもの先生なのである。子どもに選ばせたら本田さんがダントツの当選であったことは間違いない。

(なかのぜんすけ)

《 今月の紙面 》

- ・小さな町の選挙の大きな感動/中野善之助(滋賀退職教職員の会事務局長)・・・P1
- ・第28回総会概要報告/宮下ゆたか(滋賀民研事務局長)・・・P2.
- ・【記念講演】教育改革実行会議のずさんな提言と教育予算増額なしの教育改革/奈良教育大学教授 井深雄二氏・・・P3～5
- ・『滋賀大キッズカレッジ』子どものつまずき教師のなやみその根っこを探る一気になる子の指導に悩むセンセのための学習会/石垣雅也・・・P6. 7
- ・2015年度行事予定・役員一覧・・・ P8